# エコアクション21 環境経営レポート

(期間 2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年6月24日発行



# 大東カカオ株式会社

# 目次

1 .	組織の概要	P. 3
2.	対象範囲	P. 3
3.	実施体制	P. 4
4.	環境経営方針	P. 5
5.	環境経営目標	
	(1) 全社	P. 6
	(2) 中井工場 2021~2023 年度	P. 7
	(3)本社・地方営業所 2021~2023 年度	P. 7
6.	2021 年度環境経営目標の達成状況	
	(1) 全社	P. 8
	(2) 中井工場	P. 9
	(3) 本社・地方営業所	P. 10
	(4) 二酸化炭素排出量の推移	P. 10
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 11
8.	代表者による全体評価と見直しの結果	P. 11

#### 1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

大東カカオ株式会社 代表取締役社長 竹内 成行

資本金: 15億8,666万円 2021年度売上高: 156億5,600万円

従 業 員 数:380名(2022年3月31日現在)

(2) 所在地

認証・登録範囲: 中井工場 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 2753

本社 東京都目黒区下目黒 2-3-23

北海道営業所 北海道札幌市白石区南郷通1丁目北2-39

中部営業所 愛知県名古屋市中区錦 1-4-25 関西営業所 大阪府大阪市淀川区西中島 5-3-4 九州営業所 福岡県福岡市中央区大手門 2-9-29

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理統括責任者 中井工場長 伏原 英郎

【中井工場】

環境管理担当者 嶌野 大輔

TEL: 0465-81-4515

【本社・地方営業所】

環境管理担当者 髙木 淳

TEL: 03-5436-7011

(4) 事業活動の内容

チョコレート原料の製造販売、製菓・製パン原料の製造販売、その他加工食料品の製造販売

(5) 事業の規模

中井工場 ①従業員数 226 名 (2022 年 3 月 31 日現在)

②延床面積 22,252 m<sup>2</sup>

③年間生産量 21,633 t (2021 年度 製品生産量) 本社 ①従業員数 141 名 (2022 年 3 月 31 日現在)

②延床面積 3,095 m²

北海道営業所 ①従業員数 4名(2022年3月31日現在)

②延床而積 83 m<sup>2</sup>

中部営業所 ①従業員数 3名(2022年3月31日現在)

②延床面積 62 m<sup>2</sup>

関西営業所 ①従業員数 4名(2022年3月31日現在)

②延床面積 93 m<sup>2</sup>

九州営業所 ①従業員数 2名(2022年3月31日現在)

②延床面積 49 m<sup>2</sup>

#### 2. 対象範囲

(1) 認証·登録対象組織

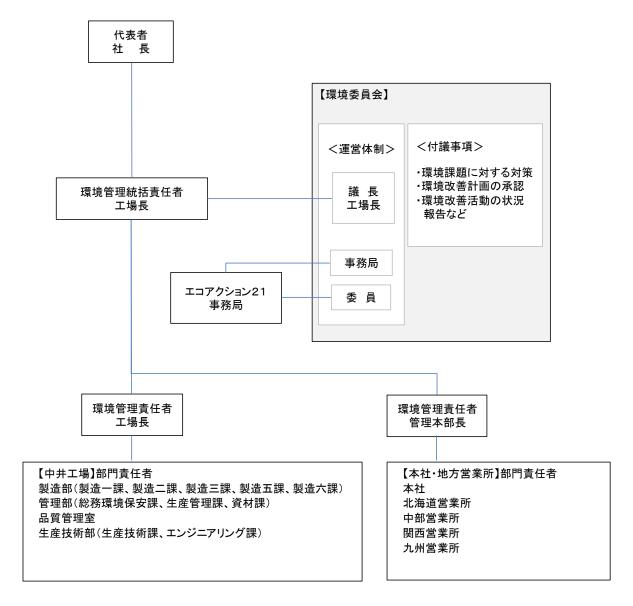
大東カカオ株式会社 中井工場、本社・地方営業所(北海道、中部、関西、九州)

(2) 認証·登録対象活動

当社が生産する製品の生産、引き渡しまでの業務、全従業員

#### 3. 実施体制

# 実施体制及び責任・権限表



- ・省エネ活動、二酸化炭素排出量削減
- ・廃棄物の発生抑制、適正処理
- ・水の有効活用、排水処理の監視
- ・環境に関わる緊急事態への対応
- ・環境に関わる法規の把握、遵守状況の確認など

#### 4. 環境経営方針

#### 環境理念および環境経営方針の設定

企業活動において今後、益々環境への取組み姿勢がその評価の視点として強く問われてきます。今回、 大東カカオとしての「環境理念」、「環境経営方針」を明確に定め、環境問題へ真剣に取組む姿勢を打ち 出したいと考えます。

#### 「環境理念」

大東カカオは、食文化の発展に貢献すべく、お客様に安心してお使い頂けるチョコレート原料メーカーとして、弛まぬ努力を続けてまいります。大東カカオは、自然と共生する企業体として食と健康をお届けすることを使命と考えております。

#### 「環境経営方針」

大東カカオは、企業活動によって生じる環境負荷の継続的改善を目指し、次の事項について環境目標や 活動計画を定めて取り組みます。

# ○環境法令の遵守

関係する環境関連法規、条例等の内容を正確に把握し、遵守します。

#### ○省エネ、二酸化炭素排出量の削減

生産工程や事務所等においてエネルギー使用の効率化に努め、二酸化炭素排出量の削減を進めます。

#### ○廃棄物排出量の削減

廃棄物の発生抑制・再資源化等により、産業廃棄物発生量の削減に努めると共に、適正処理を徹底します。また食品廃棄物は発生抑制と共にリサイクル等を進め、食品資源の有効活用を推進します。

#### ○水、化学物質等の管理

水の使用量を監視し有効活用に努めると共に、排水水質の基準を遵守します。排水処理工程で使用する 化学物質の性状等を把握し、pH を適正に管理していくことで環境汚染の発生を防止します。

#### ○環境配慮活動の推進

地元と連携した取組み、環境に配慮した資材の購入等、企業活動全般に渡って環境に有益な活動への取組みを進めます。

#### ○グリーン購入の推進

事務用品等のグリーン購入を積極的に進めます。

#### ○環境教育の実施

計画的に環境教育を実施し、上記内容の全従業員への周知徹底を図ります。

#### ○情報公開

環境への取組み内容を年次環境レポートにまとめ、公表します。

代表取締役社長 竹内 成行

2013年7月1日 制定

2020年7月1日 改定

2022年2月14日 改定

#### 5. 環境経営目標

(1) 全社 2021~2023 年度(2019年度を基準年度とした中期目標)

削減項目	年度	2019 年度 実績	2021 年度 目標	2022 年度 目標	2023 年度 目標
	生産数(t)	24,859.0	23,279.0	22,480.0	25,379.0
【1】二酸化炭素排出量	全社	10,114.5	9,196.8	8,756.5	9,685.1
実績値:t - co2	中井	9,780.0	8,869.0	8,432.0	9,364.0
	本社	334.5	327.8	324.5	321.1
【1.1】電力使用量	全社	15,941.9	14,801.3	14,082.4	15,565.0
実績値:千kWh	中井	15,352.3	$14,\!223.5$	$13,\!510.5$	14,999.0
	本社	589.6	577.8	571.9	566.0
【1.2】ガス使用量	全社	1,158.7	992.1	942.4	1,045.8
実績値:千㎡	中井	1,155.9	989.4	939.7	1,043.1
	本社	2.8	2.8	2.8	2.8
【2】廃棄物排出量	全社	1,299.3	1,050.3	1,049.9	1,049.4
実績値:t	中井	1,251.0	1,003.0	1,003.0	1,003.0
	本社	48.3	47.3	46.9	46.4
【3】水使用量	全社	65,742.1	61,685.7	59,618.9	67,019.0
実績値:m³	中井	63,608.0	59,594.2	57,548.8	64,970.2
	本社	2,134.1	2,091.4	2,070.1	2,048.7

<sup>※</sup>電力量の二酸化酸素換算係数は、基準年度である 2019 年度の 0.000468 (t-CO2/kWh)の値を使用して算出。

<sup>※</sup>ガス使用量の二酸化酸素換算係数は、0.002244 (t-CO2/m³)の値を使用して算出。

<sup>※</sup>本社ガス使用量は、アネックスビルのみ。(削減目標はなし)

<sup>※</sup>本社二酸化炭素排出量は、電気とガスの二酸化炭素排出量にガソリンの二酸化炭素排出量を含めた値を記載。

# (2) 中井工場 2021~2023 年度 (2019 年度を基準年度とした中期目標)

	2019 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
【1】二酸化炭素排出量	基準年	3%削減	5%削減	6%削減
原単位 kg-co <sub>2</sub> /t	393	381	375	369
【1.1】電力使用量	基準年	1%削減	3%削減	4%削減
原単位 kWh/t	618	611	601	591
【1.2】都市ガス使用量	基準年	9%削減	10%削減	12%削減
原単位 m³/t	46.5	42.5	41.8	41.1
【2】産業廃棄物	基準年	20%削減	20%削減	20%削減
排出量 t	1,251	1,003	1,003	1,003
【2.1】動植物性残渣	基準年	20%削減	22%削減	23%削減
排出量 t	877	700	687	673
【2.2】廃プラスチック	基準年	13%削減	9%削減	5%削減
排出量 t	347	303	316	330
【2.3】食品リサイクル率	基準年	95.0%以上維持	95.0%以上維持	95.0%以上維持
実施率%	95.9	95.0	95.0	95.0
【3】水使用量	基準年	基準年を維持	基準年を維持	基準年を維持
原単位 m³/t	2.56	2.56	2.56	2.56
【4】化学物質使用量の削減	基準年	基準年を維持	基準年を維持	基準年を維持
(排水処理 PH 調整用)	31.4	31.4	31.4	31.4
原単位 g/t				
【6】環境配慮活動	基準年	基準年以上維持	基準年以上維持	基準年以上維持
活動件数	9件	9 件以上	9 件以上	9 件以上

※ガソリン・軽油を除く

※購入電力の排出係数 0.000468 (t-CO2/kWh)

※2019 年度生産量 24,859t 基準で原単位換算

# (3) 本社・地方営業所 2021~2023 年度(2019 年度を基準年度とした中期目標)

削減目標	2019 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
【1】二酸化炭素排出量	基準年	2%削減	3%削減	4%削減
実績値: t - co2	334.5	327.8	324.4	321.1
【2】電力使用量	基準年	2%削減	3%削減	4%削減
実績値:千kWh/t	589.6	577.8	571.9	566.0
【3】食品廃棄物排出量	基準年	2%削減	3%削減	4%削減
実績値: t	15.2	14.8	14.7	14.5
【4】可燃ごみ排出量	基準年	2%削減	3%削減	4%削減
実績値:t	19.8	19.5	19.2	19.0
【5】コピー用紙使用数量 の把握 実績値:千枚		使用数量の把握	使用数量の把握	使用数量の把握
【6】水使用量	基準年	2%削減	3%削減	4%削減
実績値: m³	2134.1	2,091.4	2,070.0	2,048.7
【7】化学物質の適正管理 実績値:Kg	56.9	使用数量の把握	使用数量の把握	使用数量の把握
【8】環境配慮活動活動件数	2件	2 件	2件	2 件

※購入電力の排出係数: 0.000468 (t-CO2/kWh)

# 6. 2021 年度環境経営目標の達成状況

# (1) 全社

(2021年4月~2022年3月)

削減項目	目標		実績	評価	主な取組内容	2021 年度
FIN例·包目	生産数(t)	23,279.0	21,633	叶仙	土は採組刊谷	取組み結果
【1】二酸化炭素排出量	全社	9,196.8	9,387.2		詳細は各事業場の	
実績値:t - co2	中井	8,869.0	9,065	×	取り組み内容をご	目標未達
	本社	327.8	322.2		参照ください。	
【1.1】電力使用量	全社	14,801.3	14,752.7		詳細は各事業場の	
実績値:千kWh	中井	14,223.5	14,147.0	$\circ$	取り組み内容をご	目標達成
	本社	577.8	605.7		参照ください。	
【1.2】ガス使用量	全社	992.1	1,091.9		詳細は各事業場の	
実績値:千㎡	中井 989.4 1,089.1 ×	× 取り組み内容をご		目標未達		
	本社	2.8	2.8		参照ください。	
【2】廃棄物排出量	全社	1,050.3	978.5		詳細は各事業場の	
実績値:t	中井	1,003.0	916.8	$\circ$	取り組み内容をご	目標達成
	本社	47.3	61.7		参照ください。	
【3】水使用量	全社	61,685.7	52,888.0		詳細は各事業場の	
実績値:m³	中井	59,594.2	50,564.0	$\circ$	取り組み内容をご	目標達成
	本社	2,091.4	2,324.0		参照ください。	

<sup>※</sup>電力量の二酸化酸素換算係数は、2019年度(基準年度)の0.000468 (t-CO2/kWh)の値を使用して算出。

<sup>※</sup>ガス使用量の二酸化酸素換算係数は、0.002244 (t-CO2/m)の値を使用して算出。

<sup>※</sup>本社ガス使用量は、アネックスビルのみ。(削減目標はなし)

<sup>※</sup>本社二酸化炭素排出量は、電気とガスの二酸化炭素排出量にガソリンの二酸化炭素排出量を含めた値を記載。

# (2) 中井工場

(2021年4月~2022年3月)

27 中开工物		ı	1	(202	1 中 4 月 ~ 2022 中 3 月 /
	目標値	実績	主な取組内容	評価	2021年度取組み結果
【1】 二酸化炭素	2019 年度比		• 電力使用量削減		目標未達
排出量	3%削減		<ul><li>カ、ス使用量削減</li></ul>		機器更新や診断などで排出量
原単位kg-co₂/t		419		×	の削減はできたが、目標の達
	381	排出量			成には至らなかった。
		9,065			
【1.1】電力使用量	2019 年度比		・電力見える化		目標未達
	1%削減		· 工程改善実施		トランスの更新、冷凍機の更
原単位 kWh/t			• 省环設備更新	×	■ 新を実施。電力量の削減はで
	611	654			きたが、目標の達成には至ら
					なかった。
【1.2】ガス使用量	2019 年度比		• 工程改善実施		目標未達
• •	9%削減		<ul><li>蒸気トラップ診断</li></ul>		蒸気トラップの診断と交換を
原単位㎡/t	_		の実施	×	実施。削減はできたが、目標
	42.5	50.3			の達成には至らなかった。
	2019 年度比		• 動植物性残渣削減		目標達成
	20%削減		<ul> <li>廃プラ削減</li> </ul>	_	動植物性性残渣の削減が産業
排出量 t				0	廃棄物の総量削減に大きく寄
<u> </u>	1003.0	916.8			与した。
	2019 年度比		・工程改善実施		目標達成
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	20%削減		・ ハスク管理徹底		製造現場での日々の廃チョコ削
排出量 t				$\circ$	減取組みの成果が実を結び目
<u> </u>	700.0	579.0			標達成に繋がった。
					目標未達
【2.2】廃プラスチック	2019 年度比		・包材ロス削減		
	13%削減		・廃棄分別推進	×	動植物性性残渣削減にウエイトを
排出量 t	303.0	303.4			置いたため、廃プラ削減の取
					組が疎かになってしまった。
【2.3】食品リサイクル率	維持		・焼却処理をリサイクル		目標達成
ete U. ete a /			処理にシフトすべく	0	新規業者を開拓し、焼却処理
実施率%	95.0	99.6	廃棄物処理業者の		からリサイクル処理(メタン発酵)へと
			新規開拓を実施		大幅にシフトした。
【3】 水使用量	2019 年度実績		・器具洗浄機の導入		目標達成
F*************************************	2.56(m³/t)維持			0	器具洗浄機の導入により1日
原単位㎡/t	2.56	2.34			平均 40L の節水が可能にな
	2.50	2.04			った。
【4】 化学物質購入量	2019 年度実績		・pH 電極交換実施		目標達成
	31.4(g/t)維持		(定期メンテの徹底)		pH 電極交換・校正により電
原単位g/t				0	-   極感度が向上。効率良いpH
	31.4	24.7			調整が可能となり薬品使用の
					ムダを防いだ。
【5】環境配慮活動			・エコキャップの回収		目標未達
			• 帳票類削減		コロナ情勢を鑑み、外部活動を
環境配慮活動件数	9 件以上	<b>※</b> 7	・工場内の製品移動に	$\triangle$	自粛した。
			パレットボックスを使用		
			(段ボール削減)		
		•			

※ガソリン・軽油を除く※購入電力の排出係数:0.000468 (t-CO2/kWh) ○:目標達成、×:目標未達 ※目標値において使用量と原単位の両方を掲載しているものについては原単位で評価

※全社食品リサイクル率:99.7%(内訳 ①発生量 1484.4t ②発生抑制量 651.1t ③再生利用量 1382.6t ④熱回収量 100.9t ⑤減量量 0.0t ⑥再生利用等以外の量 0.0t ⑦廃棄物としての処分量 0.9t)

<sup>※2021</sup> 年度生産量 21,633 t 基準で原単位換算

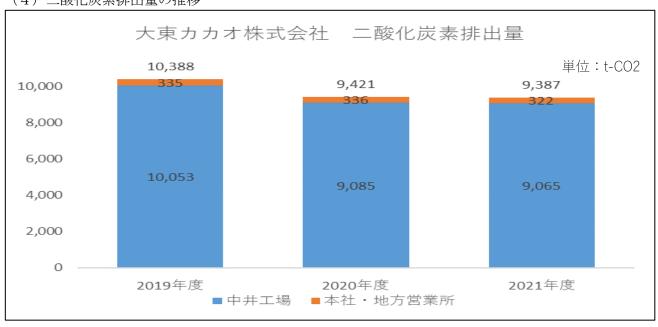
# (3) 本社・地方営業所

 $(2021 年 4 月 \sim 2022 年 3 月)$ 

			(2021 + 4)1  2022 + 6)1)			
削減目標	目標値	実績	主な取組内容	評価	2021 年度取組み 結果	
【1】二酸化炭素排出量 実績値: t - co2	2%削減 327.8	322.2	<ul><li>・エコト、ライフ、推進</li><li>・TV 会議の活用</li></ul>	0	目標達成 ガソリン使用量が基準 年比 18%減少。	
【2】電力使用量	2%削減		・エアコン室温の管理		目標未達	
実績値:千 kWh/t	577.8	605.7	(夏季:26~28℃、冬季 20~22℃設定) ・クールビズ(5月~10月) ・不要な電気の消灯	×		
【3】食品廃棄物排出量	2%削減		・サンプル在庫の賞味期限確		目標未達	
実績値: t	14.9	18.7	認 (月1回) ・有効利用策の検討および 実施 (各フロアへのチョコ設置、 社内希望者による消費) ・分別の啓蒙 (集積所のポスター掲示)	×		
【4】可燃ごみ排出量	2%削減		・分別、廃棄(リサイクル資源	×	目標未達	
実績値:t	19.5	21.1	はリサイクルごみとして廃棄)	^		
【5】コピー用紙使用数量 の把握 実績値:千枚	使用数量の 把握	882.6	・ペーパーレス会議の推進 ・プリンタ出力枚数の集計・ 管理、周知			
【6】水使用量	2%削減		・使用量の把握	×	目標未達	
実績値: m³	2,091.4	2,324.0	(本館ビル/アネックスビル単位)	^		
【7】化学物質の適正管理 実績値:Kg	使用数量の 把握	85.7	・使用数量の把握			
【8】環境配慮活動活動件数	2 件	2 件	・地域美化活動(9月、12 月)	0	目標達成	

※購入電力の排出係数: 0.000468 (t-CO2/kWh) ○:目標達成、×:目標未達

# (4) 二酸化炭素排出量の推移



排出係数 (2019 年度): 本社・地方営業所、中井工場共に 0.000468 (t-CO2/kWh)

- 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- (1) 当社の関係主要法令
  - ①省エネ法(特定事業者、第一種エネルギー管理指定工場): 定期報告書、中長期計画書提出
  - ②温対法:【省エネ法 定期報告書】で報告
  - ③大気汚染防止法:ばい煙測定実施(年2回)
  - ④悪臭防止法:敷地境界測定実施(年1回)
  - ⑤廃棄物処理法:委託業者契約確認(許可品目、許可証有効期限等)、現地確認実施 産業廃棄物処理計画書等の提出
  - ⑥食品リサイクル法(食品製造業の再生利用等実施率目標 95%)
  - ⑦容器包装リサイクル法:特定容器利用事業者として再商品化義務を履行
  - ⑧下水道法: 放流水測定分析(年6回)
  - ⑨労働安全衛生法 : 統括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者の選任、届出
  - ⑩消防法 : 防火管理者の任命、届出
  - ⑪県条例、町条例 : 遵守

#### (2) 違反、訴訟等

特定した環境法規その他要求事項について遵守状況を確認した結果、違反事項はありませんでした。 また、関係行政機関からの法規制違反等の指摘、訴訟なども発生しておりません。

- 8. 代表者による全体評価と見直しの結果
- (1)全体評価
  - ①中井工場
    - ・産業廃棄物排出量については、各部署の取り組みにより目標は達成できたが、二酸化炭素 排出量原単位については生産量の影響もあり、目標未達であった。脱炭素化(二酸化炭素 排出量削減)推進に向けて、今後の取り組みで日々の細かな取り組みのほか、大きな改善 策も必要と考える。

#### ②本社・地方営業所

・目標未達事項については、是正報告書の内容を確実に実行すること。また、引き続き研究 開発棟であるアネックスビル、本館(営業所含む)を分けて管理し、それぞれに合った実 効性のある施策を推進すること。

以上